

支援例

NPO法人コアネット

学校の希望や授業時間数などと調整しながら、下記のようなプログラムを通して、ものづくりをはじめとした様々な職業についての理解を深めるとともに、社会生活に必要なコミュニケーション能力の向上や、多くの人との出会いの場をつくっています。

1 ものづくり講話

東京都立練馬工業高校 他

1～3年生に対して、ものづくりの面白さや、仕事への考え方など、分野の異なる講師の話の聞く、全体講話、ものづくり実習、クラス別に講師が入る職業講話などを含めた工業高校用授業。

分野：自動車、電気、建設、アパレル、カメラなど、学校と調整

それぞれの専門分野での技術進歩や実際の仕事内容について紹介しながら、ものづくり分野に長年携わってきた中での経験談や、やる気、努力の大切さを伝え、実践的な講座を行っています。

2 仕事あてゲーム

東京都立八王子北高校 他

職業名と関連業界を結びつけるゲーム形式のプログラム。個人で回答したあと、グループで話し合い、まとめて発表する。キャリア教育の導入や、アイスブレイクとして実施。

リスト：マーチャンダイザー、デイトレーダー、不動産鑑定士、コンサートチューナーなど

3 創業教育プログラム

東京都立農産高校

生徒が会社を設立し、商品企画、開発、生産を行い、文化祭等での販売を通して、会社経営の演習を行う。農産高校では、ラベンダー石鹸やなべ敷きなどを作成、販売。

社会人として求められるマナーやコミュニケーション、チームワーク、情報活用、プレゼンテーション等の実践的な能力を身につける機会となります。



支援例

社団法人 日本芸能実演家団体協議会（芸団協）

東京都立東久留米総合高校（定時制）

総合的な学習の時間「日本を知る！」 日本文化を学ぶ体験活動

- ①日本舞踊【支援者 舞踊家】 ②落語【支援者 落語家】
③義太夫【支援者 女流義太夫節浄瑠璃】

言葉を使わない身体表現（日舞では、浴衣の着方とたたみ方、挨拶の仕方、扇子の使い方も含めた）から入り、座布団に座った状態で、扇子と手拭だけを用いて一人の話芸で完結する落語を経て、三味線の響きによって一人で語る義太夫節における日本語の特色と、落語とは異なる語りの表現について知ることができる流れを構成。支援者の紹介とメッセージを入れたDVD、国語の授業で教材（台本）を取り上げるなど、事前学習も含めたプログラム進行を支援。

普及啓蒙活動の経験豊富な人材の人としての魅力を通じて、伝統文化の世界への興味を喚起してもらうことを心がけた。実演の質の高さに加えて、柔軟性と存在感が一番重要な要素だと考えている。実演を職業とする人々の生活や生き方、考え方についても、理解し関心をもってもらえるように、実演家になった動機や経緯について伝える要素を含めるようにした。



隈部先生からのコメント

開校2年目で、「総合的な学習の時間」を新しく開設する必要があると、国際社会で貢献できる資質を育成するために、「日本を知る！」というテーマで取り組みました。日本古来の文化を生徒に体験させてあげたいという気持ちが強くありましたが、専門家にもどのようにお願いすればいいのかかわからないところや困難な面を、芸団協のコーディネーターが学校側の意図を良く理解していただき、専門の先生方に主旨を伝えていただいたことで、授業全体に一貫性や系統性ができました。また、専門の先生が高等学校での経験ないところでも、本校生徒の実態や教員の授業のねらいを的確に伝えていただきました。このようなことから、生徒は大変貴重な体験をすることができました。

「踊りをするの大変さや、基本の大切さを教えてもらいました。」「扇子を箸のように使ったり、そばに見立てた芸を披露してもらったりして面白かった。」「義太夫の語りの迫力がものすごかった。」